



峠の

カッティング

地質調査のとき峠にさしかかると自然の風化や崩壊によつて道の切割（カッティング）に岩石の露頭がよく出ていることがあるが、これは調査するには非常に有難いことであつて、地質の解明のための手掛りとなる岩石の色・硬さ・質や地層の走向・傾きなどを勞せずして測ることができる。右手の人はその観察の結果を野帳に記している。

もし土壌や樹木があるため全然岩石が地表に現われていない時は人夫を使つて掘つてみるが、この「トレンチする」（堀割を切る）という方法もなかなか要領がいる。北海道の炭田調査ではこのトレンチなしにはよい結果は望めない。

ここ京都郊外の西山の峠のカッティングには古生層の露頭が陽に光つていた。行手には鞍馬山が新緑にもえて 調査マン の足は軽い。

所内 第1回写真コンクール 入選作

「峠のカッティング」 燃料部 石炭課 徳永重元

地質調査所月報

(オ6巻 オ3号)

報 文

- 蔵田 延男・森 和雄：兵庫県東播地域加古川下流平野部工業用水源調査報告
 蔵田 延男：愛媛県重信川水系地下水地域調査報告
 柴藤 喜平：山口県玖珂鉱山電気および磁気探鉱調査報告

概 報

- 井上 秀雄：大分県五十川鉱山苦灰石鉱床調査報告
 林 昇一郎：愛媛県黒川貯水池地質構造調査報告
 土井 啓司：広島県瀬戸田鉱山重石鉱床調査報告
 奥海 靖：岩手県田野畑村ペグマタイト鉱床調査報告

(オ6巻 オ4号)

報 文

- 森 和雄・米谷 宏：磐田市およびその周辺地区工業用水源地調査報告
 郷原 範造・原田 久光：埼玉県秩父鉱山大黒鉱床調査報告
 ～特に磁硫鉄鉱および2,3の鉱物について～
 林 昇一郎：高知県幡多郡地下資源調査報告

概 報

- 高島 彰・東郷 文雄・高瀬 博：静岡県大嶽鉱山マンガン鉄鉱床調査報告
 菊地 徹・丸山 修司：青森県風間浦村菅の尻附近の含チタン砂鉄鉱床調査報告
 稲井 信雄：宮崎県尾前マンガン鉱床調査報告
 根本 隆文：北海道石狩炭田夕張地区ペンケモユープロ川産炭地概査報告

【訂正】地質ニュース No. 15 に誤植がありましたので下記のように訂正します

	(誤)	(正)		(誤)	(正)
5 頁右段上から10行目	00~500 r.p.m.	400~500 r.p.m.	7 頁右段下から2行目	良質の珪砂・長石にも	良質の珪石・長石にも
11頁の見出し	石岩の薄片製作方法	石炭の薄片製作方法	12頁写真の下部	コンクール入選作	コンクール入選作